

組合員のみなさまへ



高知県農業協同組合
代表理事組合長 武政 盛博

ご あ い さ つ

組合員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は当組合の事業運営に格段のご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝とお礼を申し上げます。また、通常総代会の開催につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からご配慮いただきましたことに、重ねて感謝とお礼を申し上げます。

さて、令和元年度は8月の台風10号などの自然災害に加え、今年1月の日米貿易協定の発効による自由貿易の加速化、さらには新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴う農畜産物の需要低迷など農業分野全般において甚大な影響を生じる年となりました。

こうした中、JA高知県は昨年6月に総代会でご承認いただいた事業計画、3か年計画に基づき事業運営を行い、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした自己改革に取り組んでまいりました。

自己改革の目玉として位置付けてきた「JAファーマーズマーケットとさのさと」は昨年4月のオープン以来、延べ97万人の来店者数となりました。「とさのさとアグリコレット」とともに、食と農のみならず県内各地の魅力を幅広く発信することができました。

また、昨年9月には園芸連からバトンを承継し、新たな販売体制の確立と販売力の強化に取り組みました。営農販売事業本部、地区、営農経済センターの役割を明確にし、出荷、販売体制を効率化することで流通コストの低減に努めてきました。品目ごとの消費宣伝にも力を入れ、県内外の消費者に対する県産品の認知度向上を図りました。

収支状況では、全体で3億円を上回る事業利益を計上することができました。当初の計画値を上回る実績となりましたことは、組合員の皆様のご理解とご協力の賜物と、心よりお礼を申し上げます。

令和2年度は、さらなる飛躍につなげられるよう事業の礎となる経営基盤の強化に取り組んでまいります。政府の進める准組合員の事業利用規制の見直しなど外部からの改革ではなく、組合員の皆様と一緒に改革に取り組む、地域、農業振興にまい進していきます。

加えて、今年3月末に閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」では、中小・家族経営など多様な担い手が地域社会に重要な役割を果たしていると評価されました。このことは私たちの声が政府に届いたことを意味しており、大きな成果であります。

引き続き、JA高知県へのご支援とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、組合員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、あいさつといたします。